

# 「高知家の魚応援の店」のネットワークの新たな展開について

年度	H26年度	H30年度	R元年度	R2年度	R5年度	R11年度
年間取引額	0.6億円	3.5億円	4億円 (目標)	4.2億円 (目標)	5億円 (目標)	6億円 (目標)
登録店舗数	374店舗	926店舗	1,024店舗 (12月末現在)	1,000店舗体制を維持		



## これまでの取組

- 産地見学会の開催
- 「応援の店」へのニーズ収集や産地へのフィードバック
- 「応援の店」を対象とした商談会や試食提案会の開催
- 高級飲食店や取引の可能性の高い飲食店の産地招へい
- 産地での高鮮度処理体制の構築

## これまでの成果

### R元.12月末時点 首都圏を中心に「高知家の魚応援の店」1,024店舗に拡大



- 少量多品種の特色をもつ県産水産物と他店との差別化を図りたい都市圏の飲食店のニーズをマッチングする仕組み作りにより取引額は大きく拡大

※アンケート調査による県内参画事業者との年間取引額と取引率

	H26年度	H30年度	
取引額	0.6億円	3.5億円	5.8倍
取引率（応援の店）	17%	37%	20ポイントup
取引率（県内事業者）	31%	58%	27ポイントUP

- 産地見学会など県内産地への招へいにより、本県への強い思いをもつ応援団の形成ができた

## 課題

- 水産物等県産食材の取引を拡大させていくためには、取引に繋がっている店舗を増加させる必要がある

### 【取り組み方針】

- 登録店舗1,000店の規模を維持しつつ取引率向上に向け、繋がり弱い店舗の掘り起こしやマッチングを強化する
- 県産水産物の外商の場として培ってきた高知家の魚応援の店のネットワークにより農産物等県産食材全体の取引額の増大を目指すとともに本県との緊密な関係性を土台とした本県の魅力を情報発信する場として幅広く活用していく

## 今後の取り組み

### 1 《県産食材の販路拡大》

- 水産物により築いた販路を農産物など県産食材全体の外商の場に拡大
- ・農業振興部や地産外商公社と連携したALL高知での県産食材の売り込み
  - ・高知フェアの開催等の働きかけ
- (令和2年度) **拡** 全国200店舗での高知フェアの開催

### 2 《情報発信》

- 本県の食を含めた高知の魅力を店舗を通じて情報発信
- ・観光や産地の情報、県の取り組み等について店舗内にパンフレット等を設置

### 3 《県内事業者との関係性の強化》

- 応援の店からのニーズや実取引をベースにした商材への助言をもとに産地の磨き上げを行うとともに、応援の店と県内事業者との情報交換を一層後押し
- ・産地見学会や産地招へいの機会を通じた情報交流
  - ・サンプル提供によるアドバイス、他産地の取り組み情報の提供
- (令和2年度) 産地見学会の開催 (20店舗×2回) 産地招へい (2店舗) サンプル出荷 (一般150、高鮮度10)
- 拡** ニーズ収集を基にした産地へのフィードバックの強化